

shun Ka ho 旬花報

4号

発行 2006.3.31

群馬県立女子大学
同窓会事務局
371-1193 佐波郡玉村町上之手1395-1
TEL: 0270-65-8511
URL: http://www.gpwu.ac.jp/

学長にインタビュー



学長
富岡賢治

群馬学や各界の著名人を招いての一般公開授業、学生の海外留学やボランティア活動。活発な明るい話題で、知名度、偏差値をアップさせ、人気校となりつつある群馬県立女子大学。同窓会では、二〇〇六年新春、学長先生にインタビューを実施した。大学や学生に対する熱い思いをお聞きし、予想以上にタフな精神をお持ちであることを実感した。

〔狩野〕「新聞などで、いつも感動しながら大学の記事を拝見しています。大学の近況を教えてくださいいただけますか？」

〔学長〕「感動はしなくてもいいですよ。(笑) AO入試の実施により、個性的で質の高い学生が集まるようになりまして、成功しましたね。実践的な外国語教育をというところで、学生の一ヶ月以上の留学を経費(食事等は除く)の半額助成で奨励してきました。留学後の学生は、TOEICの成績も上がり、学習意欲も増すようになり、着実な成果を示していますね。また、ボランティアでの留学、自然体験活動への参加は、積極的な職業選択のきっかけになっていますよ。学生は、チャンスがあれば大事なものの価値のあるものに気づいて、前向きに取り組んでくれるからね。いろいろなところで女子大はおもしろいですねと言われるようなことも増えてきましたよ。国際



富岡学長を囲んで

コミュニケーション学部の新設、新しい建物、明るいイメージ作りにより、ますます質の高い志願者が増えてくるでしょう。今後は、就職対策に力を入れて、光り輝く特色をもっと前面に出していきたいね。」



同窓会長
城代富美江

〔城代〕「すばらしいですね。卒業生の私たちが、それぞれの道で光り輝くよう努力していかなくてはいけないと思います。就職については、公務員採用も難しく、最初のデビューのところで落ちてしまうという残念な話も聞いたことがあるのですが、具体的にはどのような計画をお考えなのですか？」

〔学長〕「私も教育行政学の講義をしていて、四十人位履修しているのだけど、来週はディスカッションをするよって言ったら、七、八人になって、なんてこともありましたよ(笑)。就職対策については、すでにしつけマナーな

どの専門学校の講師を招いての実践や徹底的な個人面接を行うなどを進めて、就職率の方も全国平均を上回ってはきているのですがね。成果をあげている先進校のやり方で、エントリーシートへの書き方まで細かくやっているところがあるのですが、学生の自己PR、自分とは何かを考えて自分の売り込むものを表現するというのが、学生になかなか分からないことがあるし。面接についてもさらに徹底した指導もしてあげたいし。とりあえず、就職活動の開始をもっと早めなくてはならないと考えているところですね。学生も勉強はできるのだから、今時のトレンドに敏感な感覚も磨きをかけてもらいたいし、同窓会の先輩たちにも応援してもらいたいですね。」

インタビュー終了後。新築中の国際コミュニケーション学部の立派な完成予定図を見せながら、屋上に



新校舎 完成予定図

ネオンマークをつけたかったことや、一階はパリのようなカフェにして、「マイボトル」ならぬ「マイティー」を置きたかったことなど笑顔で語る学長先生は、本心にエネルギーッシュで明るく頼もしい方だった。

20年を振り返って



文学部長
日下洋右

繪の花粉症から逃れるために、海拔630

メートルの高地、松本から群馬という低地に降りてきたのは、1985年3月末のことでした。大学院を修了してから、鳥取大学に6年、信州大学に7年各々勤務しましたが、どこに住もうと高校卒業までの10年間を過ごした北海道の年数を超えることはあるまいと思っていました。ところが、群馬の地に根を下ろしてからあつという間に20年の歳月が過ぎ去ってしまいました。

20年の間に英文学系主任を2期4年、教務学生部長を2期4年、文学部長を2期4年(評議員を兼任)、公立大学協会人文系部会長を1期2年務めました。その間にセントラル・ワシントン州立大学及び蘇州大学との姉妹校提携、外国人教員の専任化、英検・TOEFL・TOEICテストの単位化、入試関係では社会人入試、転入・編入学入試、AO入試などの実施、準セメスター制の導入とカリキュラムの大幅改正、特にインターンシップ始め職業教育科目の開設、授業評価の実施とその冊子の発行、研究者総覧の発行、教員免許を取得するための再課程認定の申請(困難を極めた)、新学部創設までの作業、高大連携、大学院の規程の整備と社会人入試の実施などに取り組みました。

本学へ赴任した時には仕事を四つ抱えていましたので、この時も研究と教育を両立させるのは容易ではありませんでしたが、教務学生部長と文学部長の在任時にも、数多くの改革を次ぎ次ぎと実施しましたので、研究の時間が奪われたうえに、授業も慌ただしいものになりました。その結果、研究室と事務局をたえず往復するのが私の日課になりました。毎年秋になって4年生が卒論で忙殺されるようにになると、卒論を見るために研究室と事務局を小走りに往復する姿が私のトレードマークになったようです。そのような毎日でしたので、多忙のあまり特に卒論の指導が疎かになったのではないかと、また、学生と意志の疎通が満足にはかえなかったのではないかと反省する日々が続いています。

学生のアイデア生かす



ほんやら堂
県立女子大

癒やし系商品発売へ

コンパ授業で第2弾開発

【写真】本学美学美術史学科の「ほんやら堂」(藤田由紀子)が、県立女子大での授業風景。学生は「ほんやら堂」の新しい商品を企画する。また、企画した商品の開発も行う。学生は「ほんやら堂」の企画を盛り込んだ商品の開発も行う。学生は「ほんやら堂」の企画を盛り込んだ商品の開発も行う。



【写真】本学美学美術史学科の「ほんやら堂」(藤田由紀子)が、県立女子大での授業風景。学生は「ほんやら堂」の新しい商品を企画する。また、企画した商品の開発も行う。学生は「ほんやら堂」の企画を盛り込んだ商品の開発も行う。

紫桜賞は

『ほんやら堂最終選考組』

『ネットボール部』

に決定致しました。

ネットボール部

ネットボール部の活動内容

1. アラフラゲームズ
(環太平洋大会ネットボール選手権)
期間：平成17年5月14日～5月21日
場所：ダーウィン、オーストラリア
外国人チーム5チームを含めて6チーム参加
本学チームは日本代表として参加し、第6位
2. 第7回日本ネットボール選手権大会
期日：国土舘大学鶴川キャンパス
外国人チーム3チームを含めて6チーム参加
本学チームは第2位
ネットボール部の活動は、平成17年4月21日にNHK総合テレビ「一都六県」の番組で紹介された

第6回総会・懇親会

去る平成十七年十二月四日、群馬県庁 三十一階 欧風料理ヴォレ・シーニユにおいて、第六回総会及び懇親会が行われました。冷たく垂れ込めた寒空での開催となりましたが、富岡学長を始め、六十四名の同窓生が集まりました。懐かしい恩師や旧友達との再会に、楽しいひとときとなりました。

今回は、総会と懇親会を同じ会場で行いました。いつも出席者よりも役員の方が多かったのですが、今回は多くの方に出席して頂いたため、同窓会の活動について、多くの同窓生の皆さんに報告することができました。出席していただいた皆さんの感想をいただきましたのでご紹介致します。

◇同窓会役員のコメント

7月の役員会議で会場変更を迫られ、「レストラン形式の懇親会」を提案。自分の職場がある県庁の三十一階にあるレストラン『ヴォレ・シーニユ』を推薦した。しかし、駅から微妙な距離で県外からのアクセスが悪い。そもそも、県庁行って今更かな？という私の不安をよそに、当日のアンケートでは役員を嬉しがらせる意見が多かった。「同窓会」という機会があったので初めて県庁へ来ました」「なんてリブサービス？に照れ照れな私」。開催日時や会場、料金設定など、「あちらをたてればこちらがたす」的なことはた

くさんある。背伸びをせず、私達「紫桜会」らしい懇親会をこれからも続けていきたいと思う。そのために必要なのは、同窓会員一人ひとりからの提案だ。勿論、「猫の手」ならぬ「貴女の手」も期待する。次回懇親会は2007年開催予定。懇親会は「潤い」の場所。心を「うるうる」「ふるふる」「させる」、そんな時間を一緒につくるうてはないか!!

村上 みさおさん(美学8期生)

◇同窓生のコメント

※初めて出席しましたが、同期生が少なく少し残念でした。約20年前に卒業したので、顔と名前が一致しなかったため、名札に出身学科or出席番号e t c書いたらよかったですと思います。先生もたくさんお会いしたかったです。子供が同席できたのが良かったです。

※高崎に続き、2回目の参加になります。このような場を設定していただいていたありがとうございます。地元なので、日時、場所等は今回のような形でよかったです。県外の方のことも考えて交通の便がよければいいなと思います。

※先生や旧友と久しぶりにおしゃべりをし、現在の大学の状況を知ることができ、とても有意義なひとときがもてました。

※初参加でした。総会はずいぶん参加人数が少なくてびびりしたのですが、懇親会では、なつかしい顔も見られてよかったです。

※初めて来ましたが、お料理おいしかったです。段取りもよく楽しめました。

※同期がやっと6名集まったのがうれしかったのですが、先生方がわずかしかが出席できなかったのが残念です。

※友達と初めて出席しました。子連れでもOKということで安心してきましたが、会場で

たくさんのお友達もできて楽しそうでした。学長が「県女から女子アナを！」とおっしゃっていましたが、私も「ミニミニテイ局の「女子アナ」です」ので、学生の手助けとなればと思います。次回開催を楽しみにしています。

※十二月という時期で出席が厳しいかなあと思っていました。なんと出席できました。十月、十一月の方がまだ気持ちの余裕がありました。

※立食パーティより座つてのパーティのほうがよいと思います。遠方から来ると高崎駅付近でやつてくれる方がいいです。

※十二月は何かと忙しい時期です。十月または十一月ころが適期かと思えます。立食には向かない料理です。結局イースを移動させました。その点一考下さい。

※高崎に続き、2回目の参加になります。このような場を設定していただいております。ありがとうございます。地元なので、日時、場所等は今回のような形でよかったです。県外の方のことも考えて交通の便がよければいいと思います。

◇懇親会はこれまで毎年催されてきましたが、次回からは2年に1度の開催となります。(総会はこれまで通り毎年開催されます。)第7回懇親会は2007年の予定です。皆様の集いの場として、さらにパワーアップした会となりますよう、役員一同努力してまいります。多数のご参加、ご協力をどうぞよろしくお願致します。

平成16年度 決算

収入の部		支出の部	
前年度より繰越金	¥ 635,816	広報費(旬花報・編集費等)	¥ 297,150 <small>付表1</small>
16年度分年会費	¥ 536,000	企画費(紫桜賞等)	¥ 70,000
16年度入学学生会金	¥ 0	懇親会補助金	¥ 34,029 <small>付表2</small>
(16年度入学学生会金 ¥526,000は平成17年4月7日に入金のため、平成17年度予算の収入に計上する)		事務用品	¥ 46,935
		郵便・郵送費	¥ 601,130
		振込手数料	¥ 27,510
		会議費	¥ 4,912
		事務補助員報酬	¥ 30,000
		(支出小計)	¥ 1,111,666
		予備費	¥ 60,150
		合計	¥1,171,816
	¥1,171,816		

〈付表1〉平成16年度 広報委員会 会計報告

収入の部		支出の部	
本部会計より広報費	¥ 297,150	旬花報2号印刷代	¥ 260,400
		封筒紫桜会印刷代	¥ 36,750
	¥ 297,150		¥ 297,150

〈付表2〉平成16年度 懇親実行委員会 会計報告

収入の部		支出の部	
本部会計より補助金	¥ 34,029	会議費	¥ 27,790
出席者負担金	¥ 295,000	懇親会飲食費	¥ 244,170
		キッズルーム	¥ 15,598
		サービス料・消費税(ホテル分)	¥ 41,471
	¥ 329,029	合計	¥ 329,029

平成16年度 予算

収入の部		支出の部	
前年度より繰越金	¥ 635,816	広報費	¥ 317,150
16年度分年会費	¥ 500,000	企画費(紫桜賞等)	¥ 100,000
16年度学部入学学生会金	¥ 510,000	懇親会補助金	¥ 100,000
		事務用品	¥ 60,000
		郵便・郵送費	¥ 700,000
		振込手数料	¥ 35,000
		会議費	¥ 50,000
		備品等	¥ 200,000
		(支出小計)	¥ 1,562,150
		予備費	¥ 83,666
合計	¥1,645,816	合計	¥ 1,645,816

平成17年度 活動予定

月別	活動内容
17年 4月	入学記念品「バッジ」袋詰め作業
	入学記念品贈呈・「紫桜賞」表彰「旬花報」「年会費納入通知」発送
5月	第7回幹事会 役員会議 広報委員会議
7月	役員会議
10月	懇親会準備委員会議 「紫桜賞」募集 総会・懇親会案内発送
11月	役員・懇親会準備委員会議 広報委員会議
12月	役員会議 平成17年度総会・懇親会 広報委員取材
18年 1月	役員会議 広報委員会議
2月	役員会議・「紫桜賞」選考会議 広報委員会議

平成17年度 予算(案)

収入の部		支出の部	
前年度より繰越金	¥ 60,150	広報費	¥ 292,000
16年度学部入学学生会金	¥ 526,000	企画費(紫桜賞等)	¥ 100,000
17年度分年会費	¥ 500,000	懇親会補助金	¥ 50,000
17年度学部入学学生会(文学)入会金	¥ 318,000	紫桜会入会記念バッジ	¥ 268,000
17年度学部入学学生会(国際)入会金	¥ 168,000	事務用品	¥ 80,000
17年度学部編入学生会金	¥ 12,000	郵便・郵送費	¥ 700,000
		振込手数料	¥ 35,000
		会議費	¥ 10,000
		事務補助員報酬	¥ 30,000
		(支出小計)	¥ 1,565,000
		予備費	¥ 19,150
合計	¥1,584,150	合計	¥1,584,150

平成16年度 活動報告

月日	活動内容
16.4. 5	役員会議・入学記念品贈呈 会長入学式出席 「紫桜賞」表彰
4. 7	広報委員会議
4.14	広報委員会議
4.25	広報委員会議
5.25	第6回幹事会前日準備
5.29	第5回幹事会・「旬花報」「年会費納入通知」発送作業
6.20	幹事会欠席者への報告書発送
6.27	役員会議
9.10	役員会議
10. 1	学生表彰「紫桜賞」公募(～16.12.28まで)
10.31	総会・懇親会案内発送作業 総会準備委員会議 広報委員会議
12. 4	総会・懇親会最終打合せ
12.19	平成16年度総会・懇親会 広報委員取材
17.1.15	役員会議・反省会(雪のため延会:メールにてアンケート)
1.29	役員会議・学生表彰「紫桜賞」選考会議
1.30	広報委員会議
2.11	広報委員会議
3. 8	広報委員会議
3.17	広報委員会議
3.19	広報委員会議
3.25	会長代理卒業式出席
3.29	広報委員会議

補足 「卒業準備金 預かり制度」発足に伴う預かり金について

預かり金額	期	預けに来た人	預かった日
¥ 88,527	17	国文学科 竹野あゆみ	2001. 3.18
¥ 70,000	13	国文学科 齋藤 恵	2001. 9.11
¥ 98,916	18	美学美術史学科 野手 千歌	2001.11. 2

通帳(群馬銀行 玉村支店)にて管理

総会・懇親会 パーティー会場にて



▲笑顔がステキな役員のみなさん、神山先生と一緒に



▲斎藤先生、神山先生ご出席
ありがとうございました



▲村上みさおさんからの
会計報告



▲司会の高橋典子さんと
子供たち

同窓会役員 退任挨拶 「お世話になりました」

同窓会を立ち上げた時から会に係わる事ができ、また、素敵な人たちと出会えたことは素晴らしい経験となりました。副会長として会長を補佐できたかどうかといえは少し（いや、かなり）怪しい気はしますが、とにかく役員の方々が本場に「出来る女性」ばかりで恵まれていました。皆さんありがとうございます。これも神山先生のおかげかな？感謝しています！後任の野村さんも「やさしくて、しかも出来る女性」ですので期待しています。これからも皆さんと紫桜会が益々発展していくことをご祈念いたします。

英文一期 副会長・山田 祐子

思いがけず任をいただき、同窓会に関わることができました。なつかしく優しい先生方や同級の方々、頼もしい素敵な後輩の皆様との活動は大変貴重な経験でした。御協力ありがとうございました。

同窓会のみなさんご発展をお祈りします。

国文一期 会計監査・杉木 佳子

創刊当初から携わらせていただきありがとうございます。これからは本会報がみな様とのかけ橋となつて益々発展されていくことを一会員として楽しみにしていきたいです。

国文一期 会計監査・小林 郁代

役員のみなさまに助けていただきながら三期六年間の書記の任を終えることができて本当にありがたく思っております。春のうらかな日差しの中で枝いつばいの桜の花が咲き誇るようになささまのご活躍、ご発展を心よりお祈り申し上げます。

英文八期 書記・嶋原章子（旧姓光山）

長きにわたつてお世話になり、ありがとうございます。会計係の任に当たりながら、学生時代をおくる中ではお会いすることができなかった皆さんの先輩方や後輩たちに出会うことができ、幸せな時間を過ごすことができました。紫桜会のみなさんご発展をお祈りいたします。

国文八期 会計・新井小枝子

今回、同窓会発足当初からご苦勞なされた五人の役員の方々がお辞めになります。真摯に勞を惜しまず、同窓会の存続のみを考えてがんばつて下さつた皆様、ただただ頭が下がります。心より感謝申し上げます。

編集後記

前号にひきつづき口座番号をお知らせします。
みなさんのあたたかいご協力を宜しくお願い致します。

群馬県立女子大学同窓会年会費
口座番号

005505・5・168215
(10000円)

最後になりましたが、お忙しい中、原稿を寄せて下さつた皆様、本当にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

(広報委員長 狩野順子)